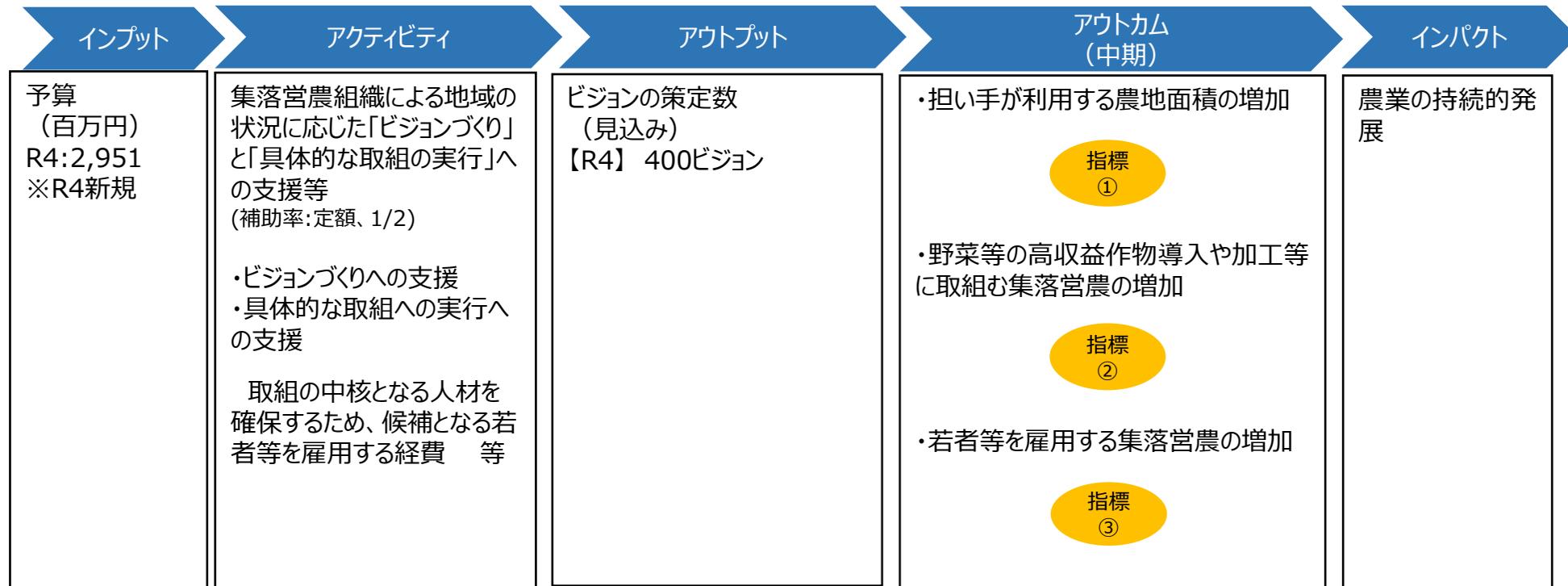


事業等名	集落営農活性化プロジェクト促進事業（令和4年度要求）	担当部局	経営局経営政策課
<p>（現状・課題） 集落営農組織は、地域の担い手として農地の利用に貢献しているが、農業者の高齢化・減少が進む中で、今後更なる脆弱化が懸念されている。 生産基盤である農地について、持続性をもって最大限利用されるよう、集落営農組織の人材の確保、収益力向上に向けた取組、組織体制の強化、効率的な生産体制の確立を図る必要がある。</p>		<p>（現状・課題を示すデータ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織のうち集落内の総耕地面積の過半を集積している組織の割合（H29：43%→R3:42%） ・集落営農数（H29：15,136→R3：14,490） ・基幹的農業従事者（個別経営体）の平均年齢（H27：67.1歳→R2:67.8歳） ・基幹的農業従事者数（H27：176万人→R2：136万人） ・担い手が利用する農地面積の割合（H25:49%→R2：58%） 	



- 指標 ①** 全農地面積に占める担い手が利用する面積の割合
(8割 (R5年度まで))
- 指標 ②** 野菜等の高収益作物導入等に取組む集落営農の割合
(検討中)
- 指標 ③** 常雇いのいる集落営農の割合
(検討中)